



学校案内



独立行政法人 国立病院機構

弘前総合医療センター附属看護学校

独立行政法人 国立病院機構 弘前総合医療センター附属看護学校



そのやさしさ、看護の力に

ここから始まる、やさしい未来。



独立行政法人 国立病院機構

弘前総合医療センター附属看護学校

〒036-8545 青森県弘前市富野町1番地

TEL 0172-32-7771

Email 106-Kangaku@mail.hosp.go.jp

学校ホームページ



Instagram





ご挨拶

本校の最大の特徴は、隣接する弘前総合医療センターにおける充実した臨床実習です。急性期医療の最前線で、多様な患者さんと関わりながら実践的に学ぶことができ、看護師として必要な知識と技術を確実に身につけることができます。また、経験豊富な教員が一人ひとりに寄り添い、

学習面だけでなく生活面や進路についても丁寧に支援する体制を整えており、初めて医療の道を志す方でも安心して学ぶことができます。

教育においては、人間を多様の・精神的・社会的に統合された存在として理解し、生命の尊厳を大切にする姿勢を育むことを重視しています。

科学的根拠に基づく看護実践力に加え、多職種と協働できる力、そして社会の変化に対応し続ける自己成長力を養います。単に技術を習得するだけでなく、「人に寄り添う力」を育てる教育を行っている点が本校の大きな魅力です。



教育理念

「人間」「環境」「健康」「看護」の理論的・経験的知識を教授し、豊かな人間性、科学的思考力、自己教育力を備えた看護実践者として、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献する専門職業人を育成します。

教育目的

看護師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。

当校の3つのポリシー

1) ディプロマ・ポリシー

1. 倫理観と生命及び人間の尊厳を基盤として、他者を思いやり相互理解・成長できる人間関係を築くことができる。
2. 看護実践に、科学的根拠に基づき安全・安楽に行うための臨床判断できる基礎的能力を有っている。
3. 看護実践に必要な原理原則に基づいた看護技術を身につけている。
4. 保健医療福祉システムにおける看護の役割及び多職種の役割を理解し、多職種と連携・協働し看護を提供する基礎的能力を身につけている。
5. 専門職業として看護を探究し、社会のニーズに対応できる自己教育力を身につけている。
6. 国立病院機構および地域に貢献し得る能力を養っている。

2) カリキュラム・ポリシー

当校のカリキュラムは、教育目標やディプロマ・ポリシーを達成するために教育課程を編成、3年間を通して段階的に確実に身につけるような教育内容・方法としています。

3) アドミッション・ポリシー

- ・ 基礎的学力があり、主体的に学習に取り組むことができる人
- ・ 基本的生活習慣を身につけており、心身の自己管理ができる人
- ・ 責任ある行動がとれ、誠実で素直、思いやりがある人
- ・ 看護職を目指したいという意思を持っている人
- ・ 社会性があり、人と協調していける人
- ・ 地域医療に貢献したいと思っている人



スクールライフ



カリキュラム

1年生

2年生

3年生

基礎分野	家族社会学 心理学 論理的思考Ⅰ・Ⅱ 哲学 人間関係論 情報科学Ⅰ 英語 基礎分子生物学 看護物理学	情報科学Ⅱ 英会話	教育学 運動と健康
専門基礎分野	人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 形態機能学 病理学 生化学 栄養学 薬理学Ⅰ 微生物学 診断・治療論 病態治療論Ⅰ・Ⅱ 保健医療論 公衆衛生学	臨床栄養 薬理学Ⅱ 病態治療論Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	生命倫理 社会保障論 関係法規
専門分野	看護学概論Ⅰ・Ⅱ 看護過程 共通基本技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 生活を整える技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 診療に伴う援助技術Ⅰ・Ⅱ 地域と暮らし 地域・在宅看護概論 成人看護学概論 成人看護方法論Ⅰ 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論	臨床判断 地域・在宅看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 地域・在宅看護演習 成人看護方法論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 成人看護演習 老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ 老年看護演習 小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ 小児看護演習 母性看護方法論Ⅰ・Ⅱ ハイリスク看護 精神看護方法論Ⅰ・Ⅱ 精神看護演習	看護研究Ⅰ・Ⅱ 看護管理 災害看護・国際看護 医療安全 臨床看護実践
実習	基礎看護学実習Ⅰ-1(6月) 基礎看護学実習Ⅰ-2(2月)	基礎看護学実習Ⅱ(10月) 領域別看護学実習(12~3月)	領域別看護学実習(4月~11月) 統合実習(11月)

年間行事





学生の日

Aさん (実習の日の1日)

6:30 起床・朝食
7:30 電車で学校へ
8:00 学校到着
実習衣に着替える

8:30 ……病棟へ出発



12:00 ……昼休み(昼食)



16:00 ……実習終了

16:15 清掃・帰宅
18:30 夕食
のんびり
19:30 実習記録
22:00 就寝

Bさん (学内日の1日)

6:30 起床・朝食
7:30 電車で学校へ
8:30 教室集合

8:50 ……1 講目
10:30 ……2 講目



12:00 ……昼休み(昼食)



13:10 ……3 講目
14:50 ……4 講目



16:30 清掃・帰宅
18:30 夕食
のんびり
19:30 復習
22:00 就寝



時間割例

1 年次

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	心理学	微生物学	人体の構造と機能Ⅲ	共通基本技術Ⅰ	地域と暮らし
2	看護学概論	保健医療論	看護物理学	家族社会学	人体の構造と機能Ⅱ
3	論理的思考Ⅰ	生活を整える技術Ⅲ	生活を整える技術Ⅱ	情報科学Ⅰ	哲学
4	生活を整える技術Ⅰ	人体の構造と機能Ⅰ	生化学	情報科学Ⅰ	栄養学

2 年次

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			精神看護演習		
2	臨地実習	臨地実習	臨床判断	臨地実習	臨地実習
3			地域在宅看護方法論Ⅱ		
4			精神看護方法論Ⅱ		

3 年次

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	医療安全		模擬試験振り返り	看護管理	国家試験対策
2	臨床看護実践	模擬試験	災害看護国際看護	関係法規	看護研究Ⅱ
3	国家試験対策		関係法規	災害看護国際看護	臨床看護実践
4	看護管理		看護研究Ⅰ	教育学	国家試験対策

在校生の声



2年生では、1年生で学んだ基礎を土台として、より専門的な知識や看護技術の習得に努めました。実習では、患者さんとコミュニケーションを通じた信頼関係の大切さや疾患や生活背景もアセスメントすることの重要性を学びました。これからは、一人ではなくクラスの仲間に支えられ、教員の指導をもとに自分の課題を明確にして次の目標に向けて取り組んでいきたい。

(Aさん 女子学生 2年生)



社会人枠で入学しました。学生の頃は理系強化が苦手だったため、ついていけるか不安でしたが先生が基礎から丁寧に教えてくださり、少しずつ理解を深めることができています。学科試験や日々の課題、演習、実習などで多忙ではありますが、将来、患者さんの役に立てるよう、1つひとつの学びを大切にしながら充実した学校生活を送っています。

(Bさん 社会人入学 1年生)



学校での生活は、男女にかかわらず過ごしやすいです。授業は、学校の教員だけでなく病院で勤務している医師や看護師、外部からの講師など専門的に教えてくださるためわかりやすいです。実習では、教員に相談ができるため安心してできます。

(Cさん 男子学生 3年生)



3年生では4月から12月まで、各領域の臨地実習が続き、学内で学んだ知識や技術を実際の看護の現場で実践しています。随時する外国語を私が一番中心に実習を行うためすぐに移動できる環境は恵まれていると感じました。お昼休みも学校に戻って昼食をとるため、クラスメイトと実習を振り返りながら互いに支え合い午後の実習に前向きに取り組むことができました。

(Dさん 女子学生 3年生)

実習施設紹介

独立行政法人 国立病院機構 弘前総合医療センター



病院の医師や看護師の講義を通して、臨床経験に基づいた実践的な知識や技術・判断力を身につけることができます。



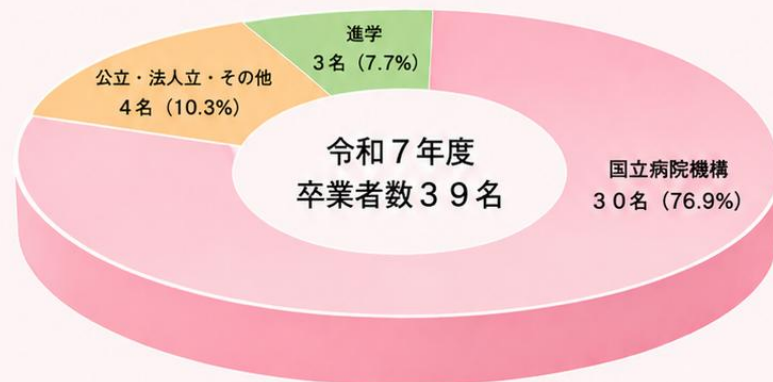
その他

独立行政法人国立病院機構 青森病院
訪問看護ステーション、保育園でも実習を行います

 <https://hirosaki.hosp.go.jp/>



令和7年度 卒業後進路



主な就職先 (国立病院機構)

- 国立病院機構弘前総合医療センター
- 国立病院機構青森病院
- 国立病院機構八戸病院
- 国立病院機構仙台医療センター
- 国立病院機構仙台北多賀病院
- 国立病院機構北海道がんセンター
- 国立病院機構北海道医療センター
- 国立病院機構函館医療センター
- 国立病院機構災害医療センター
- 国立病院機構千葉医療センター
- 国立病院機構横浜医療センター
- 国立病院機構村山医療センター
- 国立病院機構埼玉病院
- 国立病院機構東京医療センター
- 弘前大学医学部附属病院
- 青森県立中央病院
- つがる西北五広域連合つがる総合病院
- むつ総合病院

順不同

主な進学先

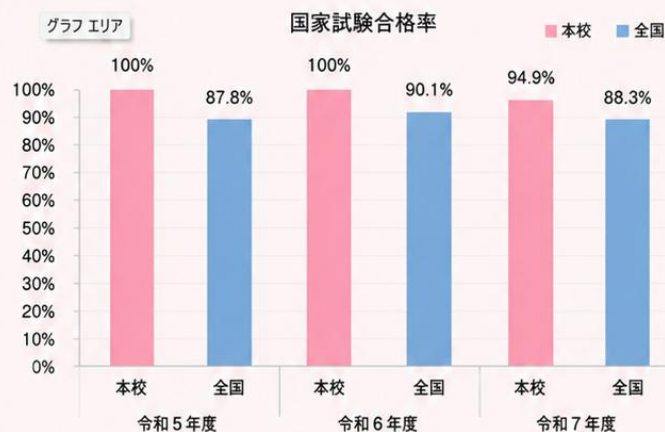
- 国立病院機構仙台医療センター附属仙台看護助産学校
- 医療法人社団 スズキ病院附属助産学校
- 日本赤十字社助産学校
- 秋田県立衛生看護学院保健科
- 北海道教育大学函館校看護教諭特別科

順不同

進路内訳

国立病院機構	30名 (76.9%)
公立・法人立・その他	4名 (10.3%)
進学	3名 (7.7%)
合 計	37名 (94.8%)

国家試験結果



試験概要

試験名	看護師国家試験 (保健師・助産師国家試験は含みません)
受験者数	39名 (令和7年度卒業生)
合格者数	37名
合格率(本校)	94.9%
合格率(全国)	88.3%
新卒合格率(全国)	90.1%
厚生労働省 発表日	令和8年3月24日

入学案内

当校で、あなたの夢を叶える第一歩を踏み出してみませんか？

募集要項

募集学科	看護学科(3年課程)
募集定員	40名(推薦入試・一般入試合わせて)
出願期間	推薦・社会人入試： 令和8年9月4日(金)～9月18日(金) 一般入試： 令和8年10月30日(金)～11月13日(金)
試験日	推薦・社会人入試： 令和8年10月7日(水) 一般入試： 令和8年12月3日(木)

経費およびその他

入学金	25万円(予定)
授業料	年額54万円(予定)
教材環境設備費	年間4万円(予定)

修学資金

- 日本学生支援機構奨学金
- 高等教育の修学支援制度
- 青森県看護師等修学資金
- 独立行政法人国立病院機構奨学金
- 教育訓練給付金

オープンキャンパスのご案内

学校の雰囲気や授業内容を体験できるチャンス！
ぜひお気軽にご参加ください。

- 第1回：令和8年6月27日(土)
- 第2回：令和8年7月25日(土)
- 第3回：令和8年8月22日(土)

